

令和4年度校長マネジメント経費 予算執行状況及び実施報告書

標記につきまして、令和4年度の執行状況及び実施内容を、下記のとおり報告します。

| 年間予算 | | ¥1,046,940 | | | | 作成年月日 | | 令和5年3月29日 | | | |
|-------|----------|------------|----------|-------|-----|-------|----------|-----------|-------------|-----|------------|
| | 報償費 | 旅費 | 消耗需用費 | 維持需用費 | 役務費 | 委託料 | 使用料及び賃借料 | 備品購入費 | 負担金、補助及び交付金 | その他 | 合計 |
| 年間執行額 | ¥100,000 | ¥940 | ¥710,210 | | | | | ¥167,200 | ¥68,590 | | ¥1,046,940 |

| 事業番号 | 経営計画番号 | 重点目標 | 主な依頼内容（物品名・支出目的等） | 成果 |
|------|--------|----------------------|--|----|
| 1 | －（１）エ | 外部人材の活用 | フードサービスコースの授業でフレンチレストランのシェフによる出前授業を実施した。本格的なコース料理の調理をする機会はなかなか得難いもので、生徒たちがフランス料理に興味を持つきっかけとなった。 | ◎ |
| 2 | －（１）オ | ICTを活用した授業力の向上 | 今年度本校に導入された1人1台端末（iPad）を活用するために、デジタルAVアダプタを購入した。ワイヤレスで大画面モニターで映像を映すことができ、効率的にICT機器を使用できるようになった。 | ○ |
| 3 | －（２） | 職員の資質向上 | 本校で勤務している、SSWやSCによる研修会を実施した。本校の生徒実態をよく把握されている講師であるため、事例を踏まえた研修は日常の教育活動にすぐ活用できる。また、大学教授による講演会を実施し、愛着障害や発達障害の生徒への対応について教員の理解を深めることができた。 | ◎ |
| 4 | －（３）エ | 実践的職業教育を通じて高い職業意識を育む | 本校では、共通の授業科目として「接客・販売」があり、模擬的な喫茶店での接客や運営について学習しており、その際使用するコーヒー豆を購入した。教員や外部からの来客があった際、提供する手順だけでなく、マナーなどの学習に役立った。 | ○ |
| 5 | －（３）オ | 企業ニーズにマッチした職業教育 | 本校の専門教科である、ファームワークの授業で使用するリアカー、クリーニングコースでスーパーファンを購入した。リアカーは現有の台数が少なく交代で使用していたが、同時に作業することができ、効率が上がった。スーパーファンは床面のワックスがけの際、早く乾燥するようになったため、廊下を通行止めにするのが少なくなった。 | ◎ |
| 6 | 二（１）ア | 進路説明会等の充実 | 校内で実施する各種説明会の際に使用する、脚付きホワイトボードを購入した。誘導のための教員を配置することなく、来場者に分かりやすく会場前での経路や注意事項などを伝えることができた。 | ○ |
| 7 | 二（２）イ | 地域へ本校の取り組みを紹介 | 本校の文化祭である「なにわ祭」を地域に向けて発信するためにポスターを作成した。新型コロナウイルス感染対策のため、地域関係者を招待することはできなかったが、本校の活動を地域へ伝えることができた。 | ○ |
| 8 | 二（３）イ | 地域へ本校の取り組みを紹介 | 本校では文化祭、体育祭、学校公開など多くの活動を地域へ発信しようとしている。現在は新型コロナウイルス感染対策のため、使用頻度は高くなかったが次年度以降は活用の機会が増えることが見込まれる。今年度は、収穫野菜の委託販売を実施した。 | ○ |
| 9 | 二（４）ア | クラブ活動を通じて自己肯定感を高める | 本校では活発に部活動が行われており、特にサッカー部は全国大会で優勝するなど、大きな成果をあげている。安全対策としてゴールウェイト、遠征用にボールバックを購入し、より効果的な部活動運営ができるようになった。また、卓球部にフェンスも購入した。 | ○ |
| 10 | 二（４）ウ | 部活動の積極的な発表 | 本校では文化部の活動も積極的に行われており、美術部の作品展示用ボードを購入した。自分の作品が掲示されることで、生徒の自己肯定感が上がった。 | ◎ |
| 11 | 二（６） | 共生推進教室の円滑な実施 | 今年度、共生推進教室が3学年揃い、生徒が多数登校するようになった。今までのロッカーでは手狭になったため、新規でロッカーを購入した。生徒は自分のロッカーがあることで荷物の管理などを、自ら行うことができるようになった。 | ◎ |
| 12 | 三（１）ア | 生徒が安心安全に過ごせる学校環境づくり | 本校は校舎が広大で死角となる箇所が多数ある。今までにカーブミラーなどを設置してきたが、今年度新たに危険箇所が見つかったためアンカーボルトを使用してカーブミラーを設置した。通行時の安全確保に寄与した。他に安全対策として体育用の大型マット、熱中症対策として工場扇を購入した。 | ○ |
| 13 | 三（２）イ | ICT活用の徹底で教育活動の実践例蓄積 | 本校では1人1台iPadが導入され、生徒や教員が簡単に動画を撮影できるようになった。撮影した動画を簡単に結合し、ブルーレイメディアに書き込むためにレコーダーを購入した。 | ◎ |
| 14 | 三（３）ア | 進路指導部を中心として定着支援の展開 | 本校では、生徒の進路指導を充実させるために指導資料を1期生より残している。資料は多岐にわたり、紙によるものも少なくない。資料ファイルを購入し、分類して整理することで進路指導部員だけでなく、担任も簡単にアクセスできるようになった。 | ◎ |